© Chiki Kikuchi

あのね

2026
9
あのね
2026年　9月号
通巻408号
発行　福音館書店 宣伝課

一生懸命やっても、うまくいかないこともあるよね。でも、きっと友だちが助けてくれる。9月の新刊『テオのりんご』は、そんな優しいメッセージが込められている作品です。きたむらえりさんのこのお話の絵を担当されたきくちちきさんは、物語の途中、いろいろな友だちと出会い、泣いたり笑ったりする主人公の「テオ」と息子さんを重ねて、何度も何度も描きながら絵を探っていったそうです。

わあ〜んと大泣きするテオと息子

きくちちき

絵本作家になり1年後くらいに息子が生まれました。そのとき、知人からお祝いに、きたむらえりさん作の「こぐまのたろの絵本」3冊セットをいただきました。息子が少し大きくなり一緒に読むと、すぐに息子もぼくもはまり、何度も読む大好きな絵本になりました。しばらく「たろ」を楽しむ日々が続いたあるとき、編集者さんから絵の依頼を受けたのが『テオのりんご』でした。

『こぐまのたろ』の作者さんとご一緒できると飛び上がるくらい嬉しかったです。すぐに原稿を読ませていただくと、素晴らしい物語で心があたたかくなりました。ちょうど息子と同じくらいの年の子グマのお話でとても共感でき、えりさんもお孫さんのために書いたお話だというのを伺ったので、えりさんのお孫さんへの思いやぼくの息子への思いを作品に重ねたうえで、どんな「テオ」が描けるか楽しみでした。

息子もぼくもえりさんの絵本が好きだったので、ぼくが絵を描いてうまく表現できるのか、かなりプレッシャーでした。ただ描いていくとあっという間に物語にのめり込み「テオ」がどんどん息子に見えて描くのが楽しくなり、プレッシャーも忘れ夢中で何枚も描き直していました。シンプルな表紙絵も、その1枚を描くのに気づけば100枚以上描いていました。

『テオのりんご』では子どもの純粋さや表情を描くのが、とにかく難しかったです。そのなかで特に思い入れの強い絵が「わあ〜ん」と大泣きする場面です。この絵は完全に「テオ」と息子が重なった表現になりました。その頃の息子はなにか失敗したり、ボードゲームで負けたり、小さなきっかけでも大粒の涙を流し大きな声をあげて「わあ〜ん」と泣く子でした。その姿が本当に愛らしく、感情をそんな風に爆発できて素晴らしいなと思っていました。

特にボードゲームではよく負けて大泣きするので可哀想になり、ぼくも妻もなるべく勝たないように忖度ボードゲームになっていました。よくないなと思いながらも、つい可愛くて負けてあげたかったのですが、不思議と息子は勝ちたいと思えば思うほど勝てず、こちらは負けたいと思えば思うほど勝ってしまい、誰が楽しいのか分からない、困ったゲームになっていました。

またある程度大きくなってからもぽろぽろ泣くので「友達と遊ぶときも泣くの？」と聞いたことがあります。友達同士では泣かないというので、感情をコントロールできるようになったんだと成長を感じましたが、親子で遊べば、ぽろぽろするしズルして勝とうとするので「ズルしても勝ちたいの？　ズルしても楽しいの？」とも聞いてみました。すると純粋な「テオ」の表紙顔で「勝ちたい！　楽しい！」と言い放つんです。子どもはなんて可愛いんだろう、息子がいつまでも「テオ」に見え、イタイ親バカさをまた実感するんです。

うちの「テオ」はいつからか、ズルくなってしまいましたが、絵本の「テオ」はズルくなくとても純粋ないい子です。応援したくなったり、喜びを分かち合いたくなる物語ですので、ぜひみなさんにも楽しんでいただけたら嬉しいです。

『テオのりんご』

きたむらえり 作／きくちちき 絵
定価1,320円（税込）
27×20cm／32ページ
4才から

内容紹介

こぐまのテオは、おばあちゃんの家にりんごを届けに行くことにしました。りんごがたくさん入ったバケツを運んでいると、道の途中でアライグマに出会います。アライグマがバケツを一緒に運んでくれたので、テオはお礼にりんごを一つあげました。花をくれたうさぎや、手を貸してくれたリスにもお礼を渡しているうちに、りんごはどんどん減っていき、気がついた時には、バケツはからっぽに。頑張るテオを応援したくなる一冊です。

きくちちきさんの展覧会が開催されます！

絵本作家
きくちちき展
いきもの Rhapsody

会期：2026年10月7日（水）ー12月13日（日）
会場：PLAY! MUSEUM（東京・立川）

詳しくはこちら▶

きくちちき●1975年、北海道生まれ。2013年ブラチスラバ世界絵本原画展にて『しろねこくろねこ』(Gakken)により金のりんご賞を受賞。2019年『もみじのてがみ』(小峰書店)により同展金牌、2020年『しろとくろ』(講談社)により産経児童出版文化賞フジテレビ賞、2025年第3回やなせたかし文化賞を受賞。絵本に『おひさま わらった』(JULA出版局)、『やまをとぶ』(岩波書店)、『いち にの さん』(えほんやるすばんばんするかいしゃ)、『ちょうちょちょうちょ』(偕成社)など多数。神奈川県在住。

色ってたのしい！

赤、青、黄色……カラフルな色を見ると元気が出たり、
楽しい気分になったり。色によっては、穏やかな気持ちになることも。
絵本の世界を彩る色は、読者の心を動かし、
想像の世界をぐんと広げる不思議な力があります。
今月は「色」に注目し、さまざまな作品を集めてみました。

いろんな いろ みつけたよ
田中千絵 文・構成／内田有美 絵
定価1,100円(税込)／24ページ
赤、橙、黄、緑、青、紫。家の中のものが色ごとに並びます。色の名前、色の美しさ、色のグラデーションの美しさが楽しめる絵本です。

2才から

新刊

色の魅力を身近なもので楽しく伝えます

赤ちゃんが夢中になるカラフルで美しい絵本

つん こん ぱっ
こぺんなな 作
定価990円(税込)／20ページ
「つん こん ぱっ」「おーん ぱくりこ」。赤ちゃんをとりこにするユニークな言葉と不思議な形。カラフルな抽象画の絵本です。

0才から

切り絵で綴る、黒猫かあさんの子育て奮闘記

くろねこかあさん
東君平 作
定価1,100円(税込)／24ページ
白と黒の色の対比を生かした切り絵の手法で展開した絵本。リズミカルな言葉がいっそう楽しさをふくらませてくれます。

2才から

世界一きれいで大きい桃色のキリン・キリカ

ももいろのきりん
中川李枝子 作／中川宗弥 絵
定価1,430円(税込)／88ページ
お母さんにもらった桃色の紙で、るるこはキリンを作りました。世界一きれいで大きいキリンのキリカは、るるこを乗せてクレヨン山へ。

4才から

赤ちゃんが大好き！ 色鮮やかな“まるの絵本”

まるてん いろてん
中辻悦子 作
定価990円(税込)／20ページ
あか、あお、きいろ……。色とりどりのまるが、ページをめくるごとに大きくなったり、小さくなったり。色鮮やかな、まるの絵本。

0才から

6匹の猫の家族。家族のつながりを描いた作品

しろねこ しろちゃん
森佐智子 文／MAYA MAXX 絵
定価1,100円(税込)／24ページ
真っ黒なお母さんと真っ黒な子猫のなかに真っ白な「しろちゃん」が1匹。しろちゃんは、みんなとおなじ真っ黒になりたくてたまりません。

2才から

いろんな模様のてんとうむし、探してみよう！

てんとうむし みつけた
岡島秀治 文／稲田務 絵
定価1,100円(税込)／24ページ
はっぱの上にテントウムシ。黒いはねに赤のまるが2つ。こっちのは、黒いはねに黄色のまるが4つ。いろんな模様、探してみよう！

3才から

白いうさぎと黒いうさぎのやさしい愛の物語

しろいうさぎとくろいうさぎ
ガース・ウィリアムズ 文・絵
まつおかきょうこ 訳
定価1,540円(税込)／32ページ
墨絵のような濃淡でやわらかく描かれます。森の情景の美しさ、こずえの葉のそよぎ、草のにおいまでがうさぎを祝福しています。

4才から

ピンクは“女の子の色”ってほんと？

かっこいいピンクをさがしに
なかむらるみ 文・絵
定価1,430円(税込)／40ページ
建築、植物染色、口承文芸、化学、服飾、美術、写真、色彩論……様々な分野の方に「ピンク」をテーマにお話を伺うルポルタージュ。

小学中学年から

毒の緑、宝石の青に花の赤。
めくるめく色たちの歴史

いろいろ色のはじまり
田中陵二 文・写真
定価1,650円(税込)／40ページ
摩訶不思議な色のお話。化学者で鉱物を愛する著者が、石や貝、草花から色をつくりながら、大昔の色から今の色までをご案内。

小学中学年から

9月の新刊

贈り物にもぴったり 3冊セットも
＼セット／

くまのぼりすの絵本2
ディック・ブルーナ 文・絵
なかのゆりこ 訳
定価2,640円(税込)
3才から

ぼりすは山登りが大好き！ 眺めもテントも最高だよ。

ぼりす やまにのぼる
ディック・ブルーナ 文・絵
なかのゆりこ 訳
定価880円(税込)
28ページ
ぼりすが山で景色を楽しんでいると、友だちのばーばらがやってくるのが見えました。ばーばらは何かをもってきたようです。

3才から

ぼりすは自分で舟を作りました。さあ、海へ！

ぼりす ふねをつくる
ディック・ブルーナ 文・絵
なかのゆりこ 訳
定価880円(税込)
28ページ
ある日、ぼりすは舟を作って、海へ漕ぎ出します。すると、溺れかけている犬を発見！ 慌てて助けに行きました。

3才から

ぼりすはパイロット。空を飛ぶのって、すごく楽しい！

ぼりす ぱいろっとになる
ディック・ブルーナ 文・絵
なかのゆりこ 訳
定価880円(税込)
28ページ
ある日、くまのぼりすは、パイロットになってみようと思いつきます。空想はどんどん広がっていき、一日中空の旅を楽しみます。

3才から

生産者と消費者をつなぐ乗り物たちを紹介！

つくる！ はこぶ！ おこめをとどける のりものたち
はっとりひろき 作
定価1,540円(税込)／32ページ
「お米」はどうやって私たちのところに届くのか、生産者と消費者をつなぐ乗り物絵本。作って、運ぶ、様々な乗り物たちが登場。

5·6才から

イスラエルに住むアラブ人のおばあさんの喜びと苦労を描く作品。

ウンム・アーザルのキッチン
菅瀬晶子 文／平澤朋子 絵
定価1,430円(税込)／40ページ
イスラエルに住むアラブ人のおばあさんの料理には、かなしみやよろこび、たくましさ、生きることのすべてがつまっています。

小学中学年から

ぐりとぐらカレンダーで楽しい一年を！

ぐりとぐらカレンダー2027
中川李枝子 作／山脇百合子 絵
定価1,400円(税込)
いつも元気な「ぐりとぐら」と一緒に、1年を過ごしませんか？ 予定をたくさん書き込め、シンプルで見やすい、毎年人気のカレンダー。すがすがしく楽しい気分を味わえます！

絵本と子育てを関わる記事をお届けする、
Webマガジン「ともの ま」随時更新中！
＼無料で読めます／
ともの ま
詳しくはこちら
https://www.tomonoma.fukuinkan.co.jp/

福音館の月刊誌 10月号のご紹介

＼ピックアップ／

こどものとも 0.1.2.

10ヵ月～2才向き
定価500円(税込)
22ページ

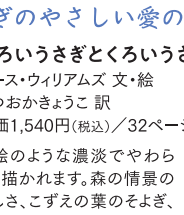
ねてるのだーれだ？
たむらしげる 作

「はっぱの ふとんで ねてるのだーれだ？」。葉っぱのページをめくると、うさぎが寝ていました。葉っぱのはしから少し見えている顔を手がかりに、誰が眠っているのか想像しながら葉っぱ型のページをめくるのが楽しい絵本です。

こどものとも 年少版

2～4才向き
定価500円(税込)
24ページ

かばくんとかめくん
菊池日出夫 作
かばくんと友だちのかめくんが、森にいって楽しく過ごします。



こどものとも 年中向き

4～5才向き
定価500円(税込)
32ページ

パンやのクルトンさん(再販)
宮島千夏 作
クルトンさんが焼くパンがお困り事を解決します。心温まる楽しい絵本です。

こどものとも

5～6才向き
定価500円(税込)
32ページ

むしむし かぼちゃだいさくせん
古川裕子 作
乱暴者のネズミを追い払うため、虫たちが考えた大作戦！

ちいさなかがくのとも

3～4～5才向き
定価500円(税込)
24ページ

どこどこ？ いたいた！ どうぶつえん
あおきあさみ 作
動物園にやってきた。動物はどこどこ？ あっ、いたいた！

かがくのとも

5～6才向き
定価500円(税込)
28ページ

まどを あけよう
百木一朗 作
窓には数々の工夫が隠れています。窓の仕組みを見てみましょう。

たくさんのふしぎ

小学3年生から
定価880円(税込)
40ページ

馬と人間
水口博也 文・写真
数ある動物の中で、なぜ人間は馬に乗るようになったのでしょう。

あのね Web ページ https://www.fukuinkan.co.jp/detail_contents/?id=235
Facebook www.facebook.com/fukuinkan
ホームページ https://www.fukuinkan.co.jp/
Instagram @fukuinkan_pr
X @Fukuinkan_PR
LINE @fukuinkan_shoten
発行●福音館書店 宣伝課　デザイン●笹館芳絵